新規事業採択時評価結果(平成30年度新規事業化箇所)

事業の概要

 事業名
 地域高規格道路 高松環状道路・高松空港連絡道路 主要地方道 円座香南線 (香南工区)
 事業 全分
 地方道 主体 香川県

 起終点
 自:香川県高松市高本町 全:香川県高松市香南町
 延長
 5.9km

事業概要

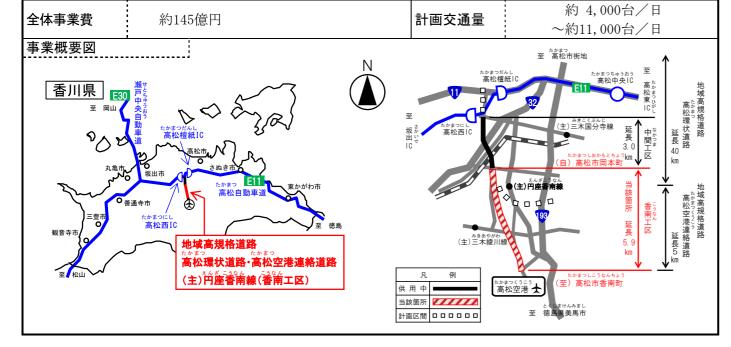
高松環状道路は、高松市中心部周辺を循環し、高松自動車道(高松西IC)、高松空港、高松港等の交通拠点等を連絡する延長約40kmの地域高規格道路であり、また、高松空港連絡道路は、高松自動車道(高松西IC)と高松空港の交通拠点を結ぶ延長約5kmの地域高規格道路である。

主要地方道円座香南線(香南工区)は、高松環状道路・高松空港連絡道路の一部を構成する、延長5.9kmの 道路である。

事業の目的、必要性

県道円座香南線(香南工区)は、下記に資する道路である。

- ・最寄り高速IC(高松西IC・高松檀紙IC)から空港へのアクセス時間の短縮
- ・空港アクセスに欠かせない定時性の確保
- ・ 並行幹線道路の交通渋滞緩和
- ・ 大規模災害時における緊急輸送道路の確保



関係する地方公共団体等の意見

地元高松市より早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

事業採択の前提条件

- ・費用対便益:便益が費用を上回っている。
- ・地元自治体から早期整備の要望を受けており、都市計画決定も完了するなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

| 费 | B∕C | | | | 総費用 | 94億円 | | 総便益 | | 105(| 意円 | 基準年 | | |
|--------|-----------|------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------|------|-----|----------------------|---------------|--------------------------------|---------|---------|--|
| 費用便益分析 | | | 1.1 | | 事業費維持管理費 | | | を | 間短縮便 費減少便 故減少便 | 益: 46 益: 3 | 流度円 7億円 2億円 ₂ | | 平成29年 | |
| 析 | 感度分析の結果 | | 交通量変動 | | B/C=1.0 | (交通量 | -109 | %) | В | /C=1.2 | (| 交通量 | +10%) | |
| | | | 事業費変動 | | B/C = 1.0 | (事業費 | +109 | %) | В | /C = 1.2 | ? (| 事業費 | -10%) | |
| | | | 事業期間変動 | | B/C=1.1 | (事業期間 | +209 | %) | В | /C = 1.2 | ? (| 事業期間 | -20%) | |
| 事業の影響 | 評価項目 | | 評価 | 根拠 | | | | | | | | | | |
| | 自動車や | 渋滞対策 | 0 | 交通の転換により、慢性的な渋滞が発生している周辺道路の混雑が緩和【交通渋滞の緩和】主要渋滞箇所6箇所 (上天神町交差点、三条町交差点、東永井交差点、 三名町交差点、新籠池交差点、太田上町南交差点) | | | | | | | | | 差点、 | |
| | 車や歩行者への影響 | 事故対策 | 0 | 並行する現道から通過交通を排除することにより、死傷事故が減少 【死傷事故率】 並行現道区間:159.70件/億台km(現況) ※県平均(県管理道路)102.07件/億台km(H24-27)の約1.6倍 | | | | | | | | | | |
| | 目 | 步行空間 | _ | 注目す | 注目すべき影響はない。 | | | | | | | | | |
| | 社会全体への影響 | 住民生活 | 0 | | 高松自動車道と一体となり、第三次救急医療施設(香川大学医学部附属病院)への 搬送時間の短縮に寄与 | | | | | | | | | |
| | | 地域経済 | 0 | ・高松空港と高松自動車道のアクセス時間の短縮や、定時性の確保により、増加するインバウンドをさらに後押し ・人流・物流の定時性、速達性が向上することで、経済活動の活性化に寄与 | | | | | | | | | | |
| | | 災害 | 0 | 第2次輸送確保路線の機能強化 救助、輸送活動等を行う拠点となる高松空港と高松自動車道との経路の確保 | | | | | | | | | | |
| | | 環境 | _ | 注目すべき影響はない。 | | | | | | | | | | |
| | | 地域社会 | 0 | 高松空港と高松自動車道とのアクセス向上により、高松自動車道を利用した交口の拡大に寄与。 | | | | | | | | 利用した交流人 | | |
| 事業実施環境 | | | 0 | ・都市計画決定(H29.12.1) ・高松市都市計画マスタープラン(H29.8改定)における交通関連施設の整備方針として、高松空港と市街地とを結ぶ本路線の整備の促進が位置づけられている。 ・地元高松市より早期整備の要望を受けている。 | | | | | | | | | | |

<u>担当課:道路局環境安全課</u> 担当課長名: 森山誠二

採択の理由

事業主体である香川県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.1と便益が費用を上回っており、事業 採択の前提条件が確認できる。

また、高松自動車道から高松空港へのアクセス時間の短縮や定時性が確保されるとともに、交通渋滞緩和や災害時における緊急輸送道路の多重化が図られることから、当該事業整備の必要性・効果は高いものと判断される。

以上により、本事業を平成30年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。